

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫

できる生活環境を形成します  = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 道路整備事業（都市計画街路事業含む）

3億6,365万円

(担当：建設課建設係、都市計画課都市計画係)

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。

《築館》栗原中央西線、一迫南線、駅前大通線  
《築館・若柳》横須賀上畑岡線  
《瀬峰》小深沢大鰐谷線

財源	国の負担額	1億	571万円
	市の負担額	2億5,	794万円
	(うち市債〔借入額〕)	2億4,	170万円)



整備が進む一迫南線（築館地区）

### 公営住宅建設事業

7,965万円

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住・生活環境整備を行うため、老朽化の著しい公営住宅の建替にともなう造成工事を行います。

《高清水》市営五輪東住宅 敷地造成

財源	国の負担額	3,	593万円
	市の負担額 <td>4,<td>372万円</td></td>	4, <td>372万円</td>	372万円

### 地域交通対策事業

3億3,756万円

(担当：市民協働課地域振興係)

地区内を運行する「乗合デマンド交通」では、新たな拠点として接骨院等21か所、郵便局19か所を追加するとともに、利用実態に合わせた運行時刻及び便数に見直しを行い、効率的な運行を図ります。

また、現在の「栗原市地域公共交通網形成計画」及び「栗原市地域公共交通再編実施計画」の計画期間が令和5年度までとなっていることから、今年度及び来年度の2年間において、令和6年度以降の公共交通の在り方について検討し、「栗原市地域公共交通計画」を策定します。

財源	県の負担額	492万円
	市の負担額 <td>3億3,264万円</td>	3億3,264万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

**新**＝新規事業 **拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 移住定住支援事業

3,411万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

#### 移住定住サポート事業

地方移住に関するワンストップ窓口として専門員を配置し、住まい・仕事・各種支援制度などに関するオンライン相談やイベント開催、お試し移住滞在中の市内案内などの対応を行います。

また、移住促進を積極的に支援するくりはら移住定住コンシェルジュなどとの官民連携によるきめ細かな対応を行い、移住につなげます。

#### 定住促進事業補助金

民間賃貸住宅に入居する新婚世帯への家賃助成や、住宅を取得（新築・購入・増改築）した転入者などへの住宅取得等資金の一部助成、市外の勤務地に遠距離通勤を行う新規学卒者などへの経費の一部助成などを行い、転出抑制と転入促進を図ります。

#### 空き家利活用推進事業

空き家を有効活用し、移住定住の促進を目的として空き家バンク制度を開設しており、空き家を売却・賃貸したい所有者と空き家の利用希望者とのマッチングを推進します。

財源	県の負担額	77万円
	市の負担額	3,334万円



移住定住コンシェルジュを紹介するマップ



令和3年7月開催予定のオンラインイベント

### 交流・移住プラットフォーム創出事業

381万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

都市部と栗原をつなぐ移住・交流拠点として、東京及び仙台にくりはらオフィスを設置するなど、移住推進と交流人口拡大に向けた取組みを展開します。

財源	県の負担額	190万円
	市の負担額	191万円

### 飲料用水浄化施設等設置助成事業

180万円

(担当：環境課生活環境係)

水道水の供給が困難な地域に居住する市民に対し、飲料用水などの浄化施設を整備する費用について、補助金を交付し公衆衛生及び生活環境の向上を図ります。

#### 〔助成内容〕

- 整備費用の1/2に相当する額  
(1戸当たり上限額60万円)

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

(1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します =新規事業 =拡充事業（事業名の頭に標記）

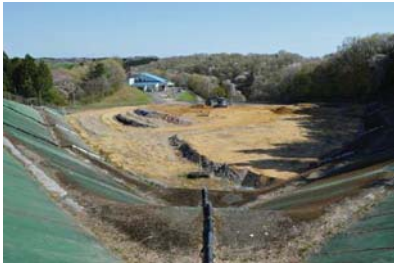


## 一般廃棄物処理施設整備基本構想策定事業

884万円

(担当：環境課環境施設整備係)

一般廃棄物処理施設（最終処分場、クリーンセンター、衛生センター）の経年劣化に伴い、施設整備に向けた基本構想の策定を行います。



更新時期が近付いている一般廃棄物処理施設

(2) 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します

## 志波姫公民館整備事業

4,981万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

老朽化が進んでいる志波姫公民館について、市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる施設として、安心して利用できる公民館を整備するため、建設予定地にある志波姫体育センターの解体工事を行います。



解体予定の志波姫体育センター

財源	市の負担額	4,981万円
	(うち市債[借入金])	4,690万円)

## 若柳公民館整備事業

350万円

(担当：社会教育課生涯学習係)



市民が「いつでも どこでも だれでも」学べる生涯学習の拠点として整備する若柳公民館について、現在の公民館から新たな公民館への備品等の移設を行います。



建設中の若柳公民館

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 災害から市民の生活を守る道路整備

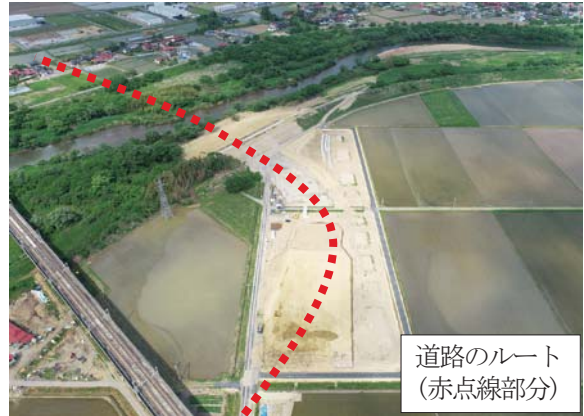
6億4,831万円

(担当：建設課建設係・維持係)

道路・道路橋の点検を行い点検結果による修繕や架け替えを行うことで、道路・道路橋の長寿命化を図り市民の安全な生活環境を守ります。

《若柳・志波姫》大林線（(仮称)栗原東大橋）  
《全市》市道・市道橋長寿命化対策事業

財源	国の負担額	3億8,902万円
	市の負担額	2億5,929万円
	(うち市債〔借入金〕)	2億900万円



道路のルート  
(赤点線部分)

整備が進む大林線（仮称）栗原東大橋（若柳・志波姫地区）

### 耐震診断・耐震改修工事促進助成事業

2,485万円

(担当：建築住宅課建築係)

大規模地震による住宅被害を減少させるため、昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、耐震診断士を派遣して耐震診断並びに耐震改修設計を行います。さらに、耐震診断に基づいた耐震改修工事に対し助成を行い、安全・安心な居住環境の確保を支援します。

- 木造住宅耐震診断助成事業  
耐震診断士の派遣、診断、設計の支援
- 木造住宅耐震改修工事促進助成事業  
木造住宅の耐震改修工事への助成

財源	国の負担額	1,142万円
	県の負担額	571万円
	市の負担額	772万円

### 自主防災組織活動支援事業 390万円

(担当：危機対策課防災係)

自主防災組織が行う防災訓練や講習会などに要する経費の2/3（上限3万円）を助成します。



高清水九区自治会自主防災会の避難訓練の様子

### 防災行政無線設備更新事業

1億1,190万円

(担当：危機対策課防災係)

安定した放送を行うために、防災行政無線親局の更新を行います。





更新予定の親局操作卓

財源	市の負担額	1億1,190万円
	(うち市債〔借入金〕)	1億1,190万円

# 1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」

## (3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

### 栗原市総合防災訓練 **600万円** (担当：危機対策課防災係)

災害に対する備えの充実と強化を図り、災害時の被害を軽減させるため、栗原市総合防災訓練を実施します。

本年度は、9月4日(土)に宮城県事業である「宮城県総合防災訓練」との共同開催として実施します。



防災訓練の様子

財源	県の負担額	200万円
	市の負担額	400万円

### 消防車両、高規格救急自動車整備事業 **9,139万円** (担当：消防本部警防課警防係)

水槽付き消防ポンプ自動車と、高規格救急自動車を整備します。



水槽付き消防ポンプ自動車



高規格救急自動車

財源	県の負担額	840万円
	市の負担額	8,299万円
	(うち市債[借入金])	8,290万円

### 交通安全施設整備事業 **690万円** (担当：危機対策課防災係)

交通事故防止のため、カーブミラーやガードレール、道路表示などを整備します。



更新したカーブミラー

### 消費生活相談窓口設置事業 **675万円** (担当：産業戦略課商工振興係)

契約トラブルや悪質商法等、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、専門知識を有する相談員を配置し、相談に応じます。

〔相談窓口〕

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時  
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

財源	県の負担額	588万円
	市の負担額	87万円